

# I 本市商業の概要

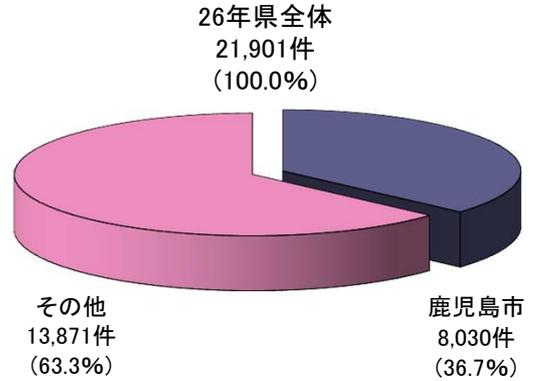


# 1. 商業全体（卸売業・小売業）

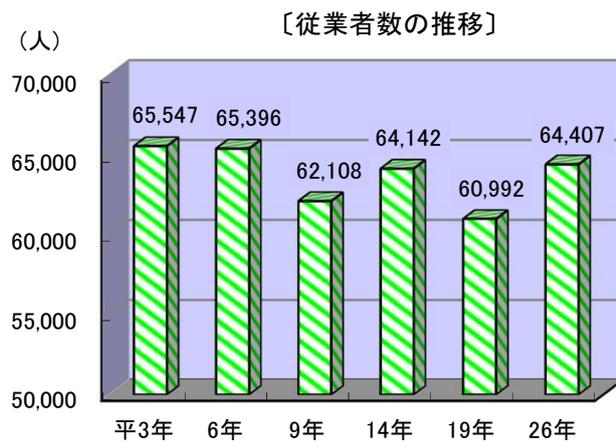
◆ 事業所数 8,030件



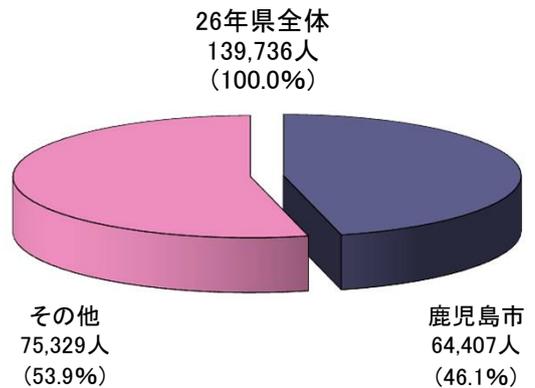
【県に占める割合】



◆ 従業者数 64,407人



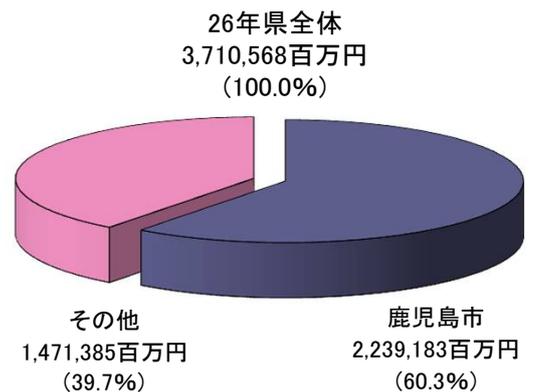
【県に占める割合】



◆ 年間商品販売額 2,239,183百万円

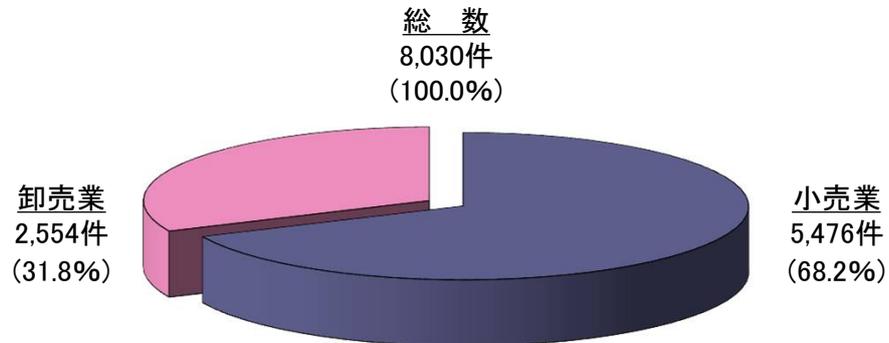


【県に占める割合】

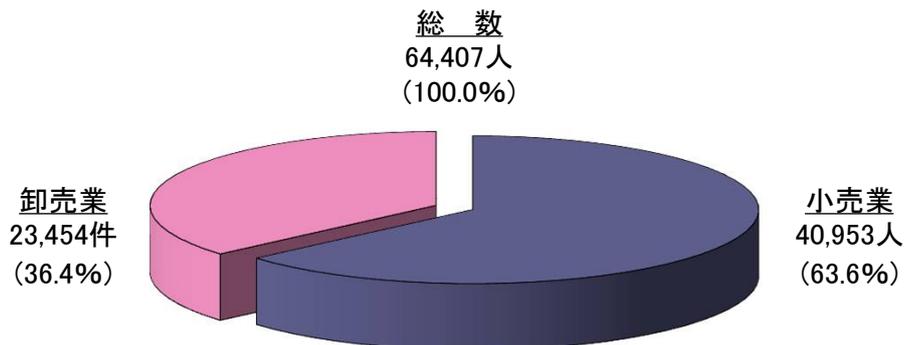


## 2. 卸売業と小売業の割合

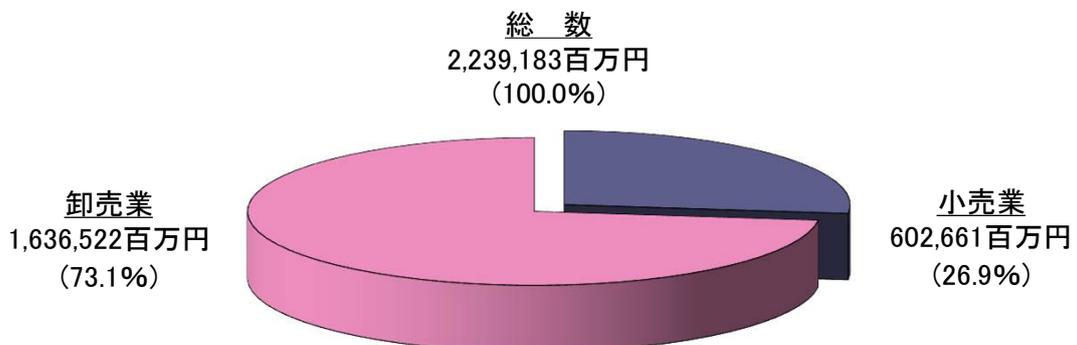
### 【事業所数】



### 【従業者数】



### 【年間商品販売額】



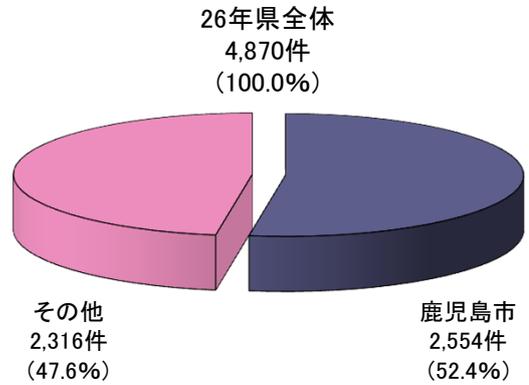
### 3. 卸売業

◆ 事業所数 2,554件

〔事業所数の推移〕



【県に占める割合】

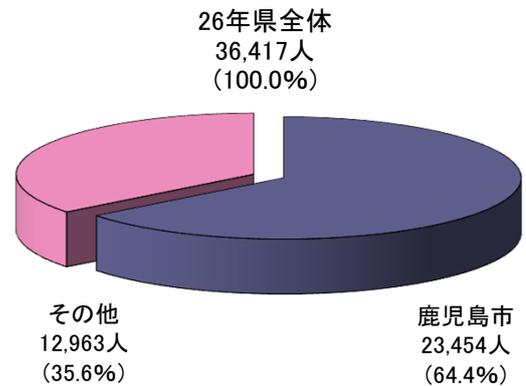


◆ 従業者数 23,454人

〔従業者数の推移〕

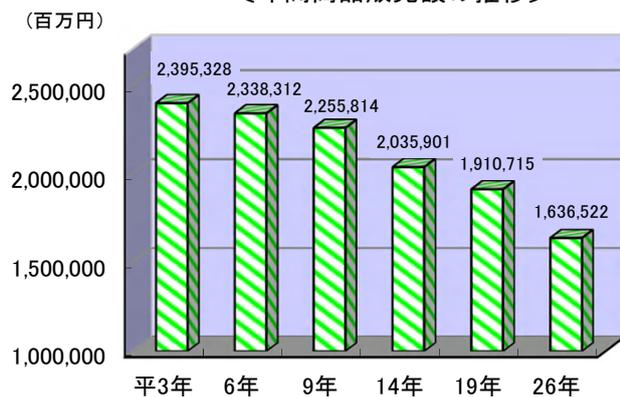


【県に占める割合】

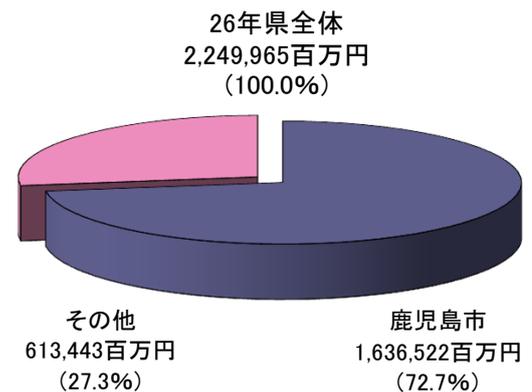


◆ 年間商品販売額 1,636,522百万円

〔年間商品販売額の推移〕



【県に占める割合】



# 卸売業

## ◆ 業種別の状況

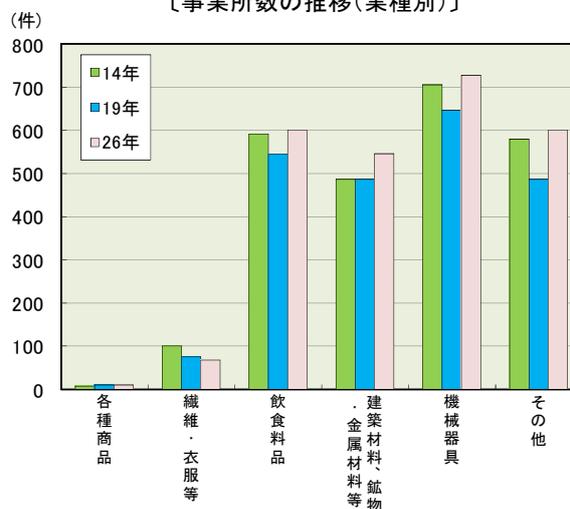
### 【事業所数】

卸売業の事業所数は、これまで減少傾向にありましたが、26年調査では2,554件で、前回調査(19年)と比較すると13.6%(305件)増加しています。

業種別では、「機械器具卸売業」が728件で最も多く、次いで「その他の卸売業」601件、「飲食料品卸売業」600件、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」546件、「繊維・衣服等卸売業」68件、「各種商品卸売業」11件の順となっています。

業種別に19年と比較すると、増加していたのは「その他」、「機械器具」、「建築材料、鉱物・金属材料等」、「飲食料品」の4業種で、「各種商品」は同数、減少は「繊維・衣服等」の1業種のみでした。

〔事業所数の推移(業種別)〕



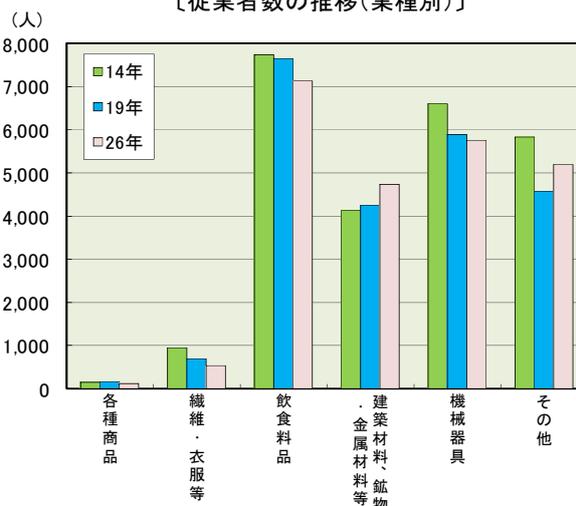
### 【従業者数】

卸売業の従業者数は、これまで減少傾向にありましたが、26年調査では23,454人で、前回調査(19年)と比較すると1.0%(227人)増加しています。

業種別では、「飲食料品卸売業」が7,133人で最も多く、次いで「機械器具卸売業」5,754人、「その他の卸売業」5,188人、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」4,734人、「繊維・衣服等卸売業」532人、「各種商品卸売業」113人の順となっています。

業種別に19年と比較すると、増加していたのは「その他」と「建築材料、鉱物・金属材料等」の2業種のみで、それ以外の業種は減少していましたが、全体としては微増という結果でした。

〔従業者数の推移(業種別)〕



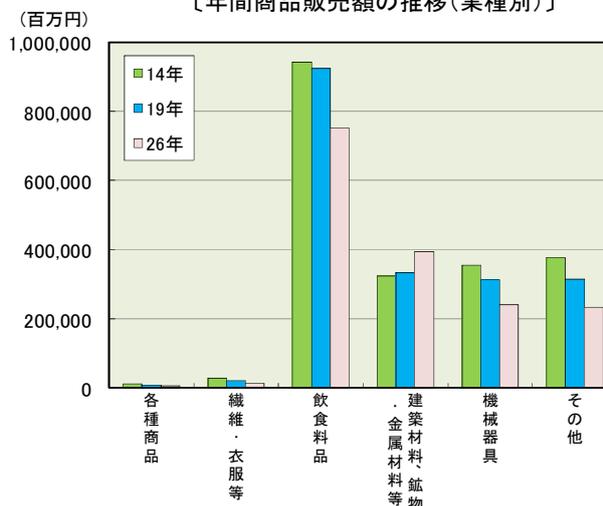
### 【年間商品販売額】

卸売業の年間商品販売額は、これまで減少傾向にありましたが、26年調査では1兆6,365億2,238万円で、前回調査(19年)と比較すると14.4%(2,741億9,305万円)減少しています。

業種別では、「飲食料品卸売業」が7,515億5,825万円で最も多く、次いで「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」3,934億1,461万円、「機械器具卸売業」2,406億8,992万円、「その他の卸売業」2,332億3,217万円、「繊維・衣服等卸売業」124億2,392万円、「各種商品卸売業」52億351万円の順となっています。

業種別に19年と比較すると、増加していたのは「建築材料、鉱物・金属材料等」の1業種のみで、それ以外の業種は減少していましたが、「飲食料品」において特に大きな減少がみられました。

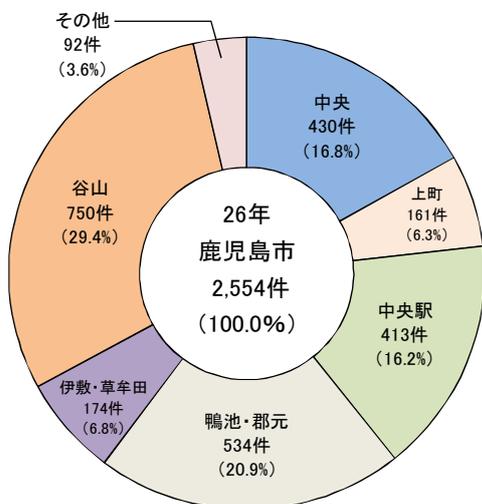
〔年間商品販売額の推移(業種別)〕



# 卸売業

## ◆ 地区別の構成

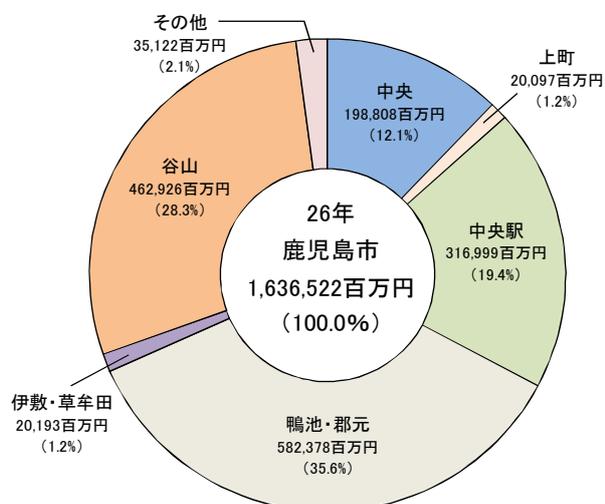
〔事業所数の構成(地区別)〕



※「その他」地区の内訳

吉田38件(1.5%)、桜島6件(0.2%)、喜入13件(0.5%)、松元26件(1.0%)、郡山9件(0.4%)

〔年間商品販売額の構成(地区別)〕



※「その他」地区の内訳

吉田23,002百万円(1.4%)、桜島2,373百万円(0.1%)、喜入807百万円(0.0%)、松元6,241百万円(0.4%)、郡山2,700百万円(0.2%)

# 卸売業

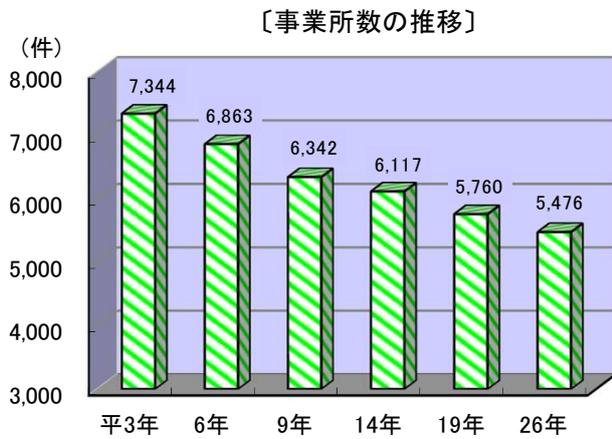
指標〔平均値(平成26年)〕

業 種 区 分		全 体	各種商品	繊維・衣服 等	飲食料品	建築材料、 鉱物・金属 材料等	機械器具	その他
		1事業所当たり 従業者数 (人)	全 国	10.5	27.2	10.7	10.5	9.2
	鹿児島県	7.7	7.1	7.4	8.6	7.0	7.2	7.4
	鹿児島市	9.6	7.6	8.4	12.7	8.8	8.3	8.8
1事業所当たり 年間商品販売額 (百万円)	全 国	1,352	21,997	604	1,236	1,842	1,170	969
	鹿児島県	647	404	197	877	695	405	537
	鹿児島市	930	578	239	1,708	1,049	499	582
従業者1人当たり 年間商品販売額 (百万円)	全 国	129	810	56	118	200	102	96
	鹿児島県	84	57	27	102	99	56	73
	鹿児島市	97	77	28	135	119	60	66

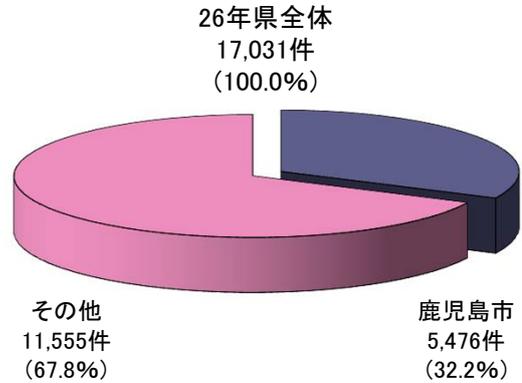
※本表は、産業大分類「I－卸売業、小売業」に格付けられた事業所のうち、「管理、補助的経済活動のみを行う事業所」及び「産業細分類の格付に必要な事項の数値が得られなかった事業所」を除いたものであるため、本書の各表とは数値が一致しない。

## 4. 小売業

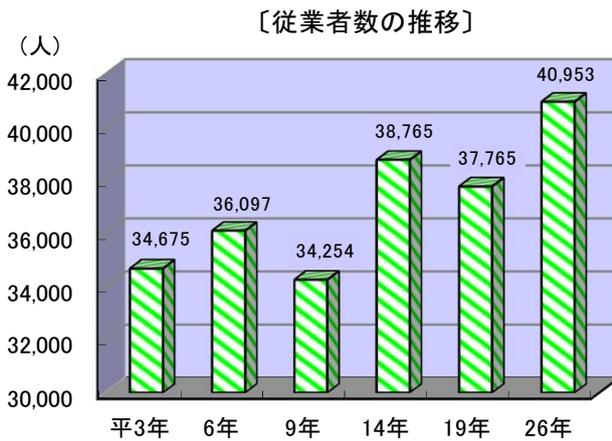
◆ 事業所数 5,476件



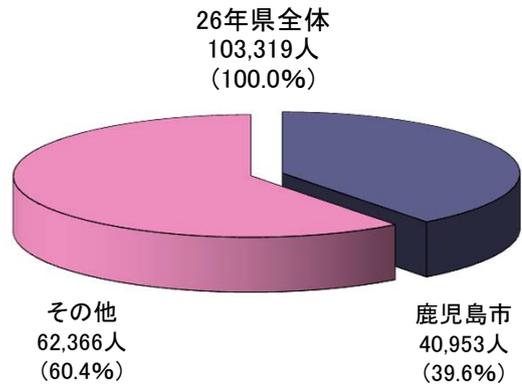
【県に占める割合】



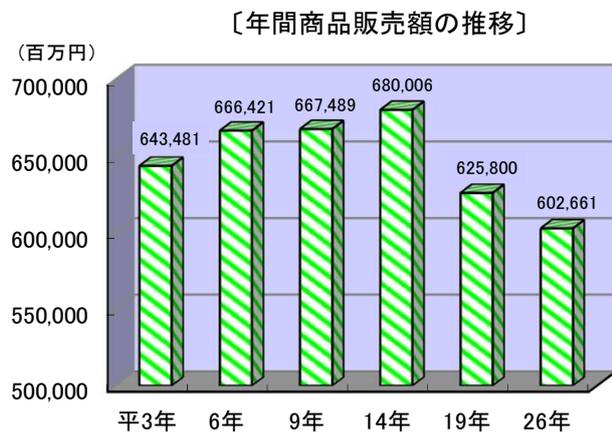
◆ 従業者数 40,953人



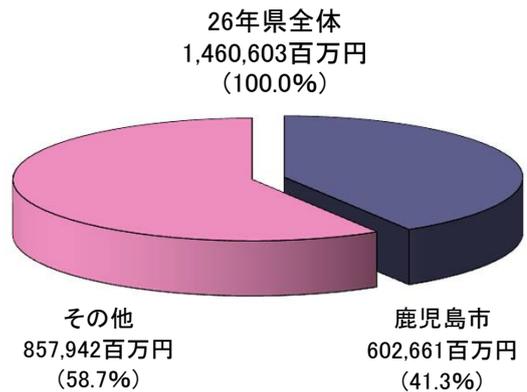
【県に占める割合】



◆ 年間商品販売額 602,661百万円



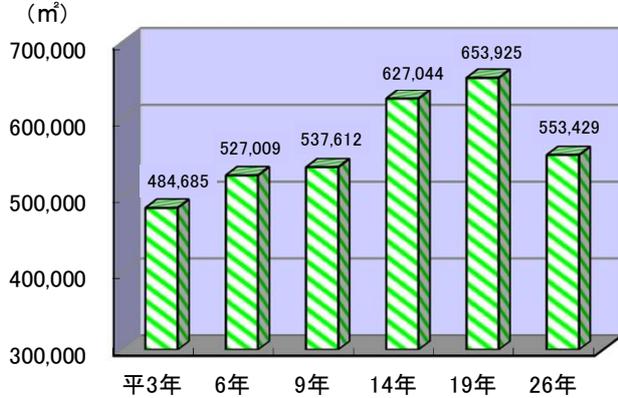
【県に占める割合】



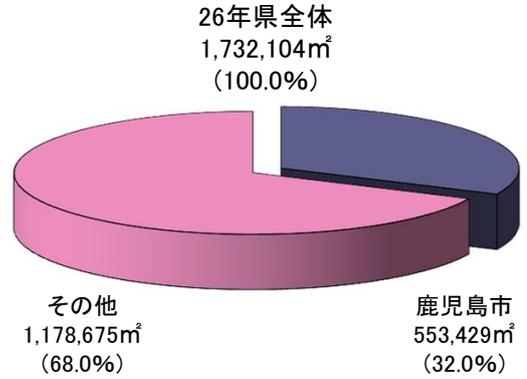
# 小売業

◆ 売場面積 **553,429<sup>m</sup><sub>2</sub>**

〔売場面積の推移〕



【県に占める割合】



## ◆ 業種別の状況

※「無店舗小売業」は、26年調査からの新業種

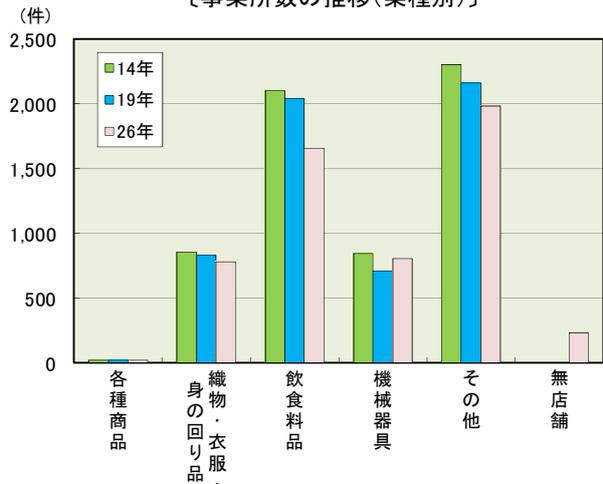
【事業所数】

小売業の事業所数は、これまでも減少傾向にありましたが、26年調査では5,476件で、前回調査(19年)と比較すると4.9%(284件)減少しています。

業種別では、「その他の小売業」が1,982件で最も多く、次いで「飲食料品小売業」1,656件、「機械器具小売業」806件、「織物・衣服・身の回り品小売業」777件、「無店舗小売業」234件、「各種商品小売業」21件の順となっています。

業種別に19年と比較すると、増加していたのは「機械器具」と「各種商品」の2業種で、減少していたのは「飲食料品」、「その他」、「織物・衣服・身の回り品」の3業種でした。

〔事業所数の推移(業種別)〕



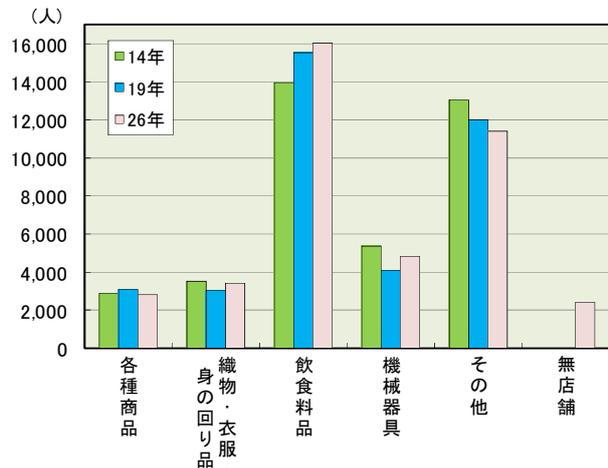
【従業者数】

小売業の従業者数は、これまでも増加傾向にありましたが、26年調査では40,953人で、前回調査(19年)と比較すると8.4%(3,188人)増加しています。

業種別では、「飲食料品小売業」が16,044人で最も多く、次いで「その他の小売業」11,406人、「機械器具小売業」4,819人、「織物・衣服・身の回り品小売業」3,434人、「各種商品小売業」2,820人、「無店舗小売業」2,430人の順となっています。

業種別に19年と比較すると、増加していたのは「機械器具」、「飲食料品」、「織物・衣服・身の回り品」の3業種で、減少していたのは「その他」と「各種商品」の2業種でした。

〔従業者数の推移(業種別)〕



# 小売業

## 【年間商品販売額】

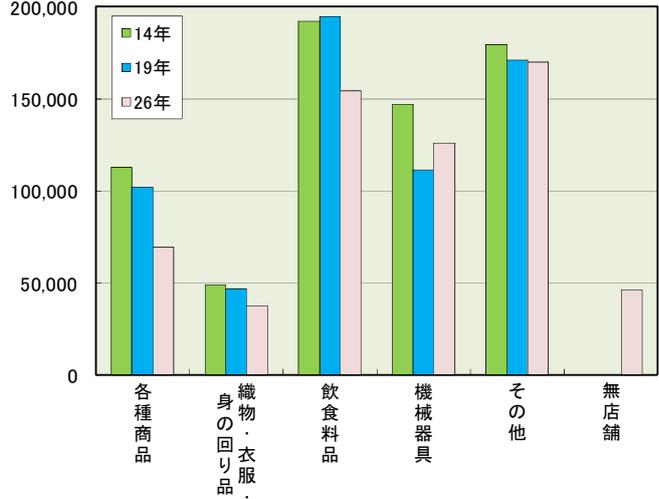
小売業の年間商品販売額は、これまでも減少傾向にありましたが、26年調査では6,026億6,051万円で、前回調査(19年)と比較すると3.7%(213億3,919万円)減少しています。

業種別では、「その他の小売業」が1,700億1,682万円で最も多く、次いで「飲食料品小売業」1,541億8,659万円、「機械器具小売業」1,259億9,536万円、「各種商品小売業」692億988万円、「無店舗小売業」459億6,096万円、「織物・衣服・身の回り品小売業」372億9,090万円の順となっています。

業種別に19年と比較すると、増加していたのは「機械器具」の1業種のみで、それ以外の業種は減少していましたが、「飲食料品」と「各種商品」において特に大きな減少がみられました。

(百万円)

〔年間商品販売額の推移(業種別)〕



## 【売場面積】

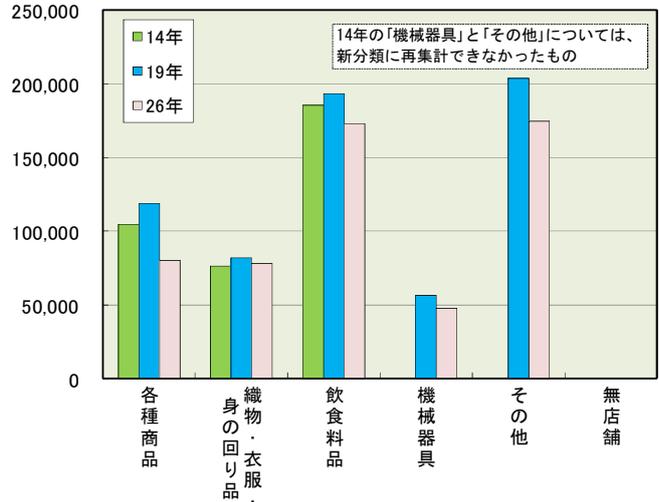
小売業の売場面積は、これまで増加傾向にありましたが、26年調査では553,429㎡で、前回調査(19年)と比較すると15.4%(100,496㎡)減少しています。

業種別では、「その他の小売業」が174,582㎡で最も多く、次いで「飲食料品小売業」172,943㎡、「各種商品小売業」80,212㎡、「織物・衣服・身の回り品小売業」78,212㎡、「機械器具小売業」47,480㎡の順(「無店舗小売業」は売場面積が無い事業所のため0㎡)となっています。

業種別に19年と比較すると、全ての業種が減少していましたが、「各種商品」と「その他」において特に大きな減少がみられました。

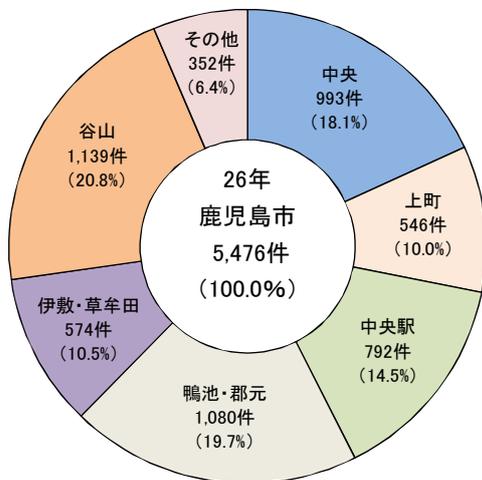
(㎡)

〔売場面積の推移(業種別)〕



## ◆ 地区別の構成

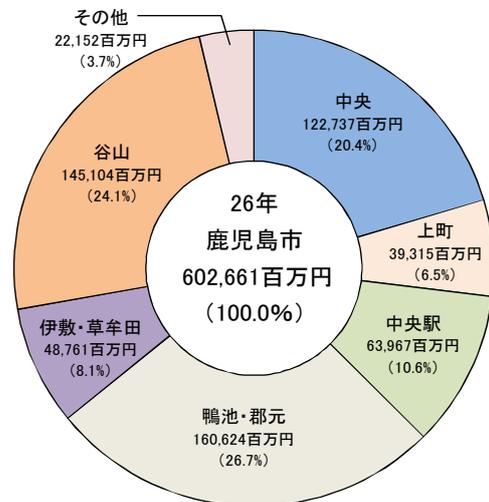
〔事業所数の構成(地区別)〕



※「その他」地区の内訳

吉田67件(1.2%)、桜島45件(0.8%)、喜入108件(2.0%)、松元83件(1.5%)、郡山49件(0.9%)

〔年間商品販売額の構成(地区別)〕



※「その他」地区の内訳

吉田3,918百万円(0.7%)、桜島1,628百万円(0.3%)、喜入4,122百万円(0.7%)、松元9,481百万円(1.6%)、郡山3,004百万円(0.5%)

# 小売業

指標〔平均値(平成26年)〕

区 分		業 種						
		全 体	各種商品	織物・衣服・身の回り品	飲食料品	機械器具	その他	無店舗
人口1人当たり 事業所数 (件)	全 国	0.00610	0.00003	0.00087	0.00186	0.00080	0.00231	0.00023
	鹿児島県	0.00802	0.00003	0.00076	0.00281	0.00107	0.00310	0.00025
	鹿児島市	0.00636	0.00003	0.00089	0.00195	0.00083	0.00238	0.00028
人口1人当たり 年間商品販売額 (万円)	全 国	96	9	7	25	18	31	6
	鹿児島県	87	5	4	26	15	32	5
	鹿児島市	99	11	6	25	21	28	8
人口1人当たり 売場面積 (㎡)	全 国	1.061	0.145	0.154	0.286	0.101	0.375	-
	鹿児島県	1.037	0.071	0.127	0.359	0.092	0.388	-
	鹿児島市	0.913	0.132	0.129	0.285	0.078	0.288	-
1事業所当たり 支持人口 (人)	全 国	164	34,622	1,150	537	1,246	433	4,432
	鹿児島県	125	37,113	1,310	356	936	323	3,948
	鹿児島市	157	35,675	1,119	513	1,211	419	3,568
1事業所当たり 従業者数 (人)	全 国	7.5	96.9	4.8	9.3	6.5	6.2	8.0
	鹿児島県	6.0	72.3	3.9	7.1	5.0	5.3	7.7
	鹿児島市	8.0	145.8	4.7	10.3	6.3	5.9	11.0
1事業所当たりの 年間商品販売額 (百万円)	全 国	158	3,136	76	136	222	135	267
	鹿児島県	109	1,818	53	93	143	104	192
	鹿児島市	156	4,071	69	130	251	118	270
従業者1人当たり 年間商品販売額 (百万円)	全 国	21	32	16	15	34	22	33
	鹿児島県	18	25	14	13	29	20	25
	鹿児島市	20	28	15	13	40	20	25
売場面積1㎡当たり 支持人口 (人)	全 国	0.94	6.90	6.50	3.49	9.94	2.67	-
	鹿児島県	0.96	14.18	7.87	2.78	10.88	2.58	-
	鹿児島市	1.10	7.56	7.75	3.51	12.77	3.47	-
売場面積1㎡当たり 従業者数 (人)	全 国	0.043	0.019	0.027	0.061	0.052	0.038	-
	鹿児島県	0.047	0.028	0.023	0.056	0.058	0.042	-
	鹿児島市	0.056	0.031	0.032	0.071	0.067	0.049	-
売場面積1㎡当たり 年間商品販売額 (万円)	全 国	91	63	43	88	177	83	-
	鹿児島県	84	69	32	73	166	83	-
	鹿児島市	109	86	48	89	265	97	-

※本表は、産業大分類「I-卸売業、小売業」に格付けられた事業所のうち、「管理、補助的経済活動のみを行う事業所」及び「産業細分類の格付に必要な事項の数値が得られなかった事業所」を除いたものであるため、本書の各表とは数値が一致しない。